

少子化日本の未来を考えるシンポジウム2023

～親になる喜びを広げよう～

6月18日(日) 13:00～16:00

講演

緒方林太郎 おがたりんたろう



テーマ **少子化日本の現状と課題～国会の現場から～**

衆議院議員(無所属)
北九州市八幡西区鉄竜生まれ。
東京大学法学部在学中に外交官試験に合格し、1994年外務省入省。フランス、セネガルでの海外勤務経験あり。
2005年退職し、政治の道へ。2009年衆議院議員に初当選。現在3期目。中学1年女児の父。

講演&トーク

テーマ **これから どうなる!? どうする 日本のお産**

医師
中村薫

なかむら かおる



助産師
澁谷貴子

しぶや たかこ



シンポジウム実行委員長

岩本彩奈

いわもと あやな



作業療法士

産科医師・医学博士
一般社団法人 日本助産所会嘱託医師

2001年 北九州市でなかむら産家医院
開院。医療行為を可能な限り控え、自然なお産と母子の絆を深める事を目指した。2018年 閉院。
現在沖縄県共同病院勤務。勤務医として働き、若手医師の育成に取り組んでいる。

看護師・助産師
アドバンス助産師
しぶや助産院 院長助産師
一般社団法人 日本助産所会 代表理事

長崎大学医学部付属看護助産学校助産婦科卒業後、産業医科大学病院(分娩部・NICU)に16年間勤務後2003年12月 福岡県遠賀郡岡垣町に、しぶや助産院を開院。自然分娩・母乳育児支援・産後ケアを行い、地域の母子保健向上に尽力中。

作業療法士の夫と1歳9ヶ月の男の子の3人家族。2019年にしぶや助産院で出産。陣痛から4日かかりでの出産を経験。お産を乗り越えられたのがとても自信になり、夫と一緒に毎日楽しく育児をしている。
帝京大学福岡医療技術学部卒。精神科病院、特別養護老人ホーム、認知症専門病院などを経験の後、株式会社LAPREにて勤務。「認知症で苦しむ人を0にする」の会社のミッションに則り尽力中。

講演

坂西卓郎 さかにしたくろう PHD協会 事務局長
アギー助産師(インドネシア) PHD協会 海外研修生



PHD協会は、1962年からネパールを中心に医療活動に従事した岩村昇医師が自らの経験と反省をふまえ、「物」「金」中心の一時的援助を超えた草の根レベルの人材交流・育成を提唱し、1981年に設立。アジア・南太平洋の村の青年を研修生として日本に招き、農業、保健衛生、地域組織化などの研修を行い、帰国後もフォローアップを行うことを通じて、草の根の人々による村づくりと生活向上に協力する。日本の人々も交流を通して学び、共に生きる社会の実現をめざす。

テーマ

世界の現状(乳幼児死亡率とSDGs)
～インドネシア助産師アギーさんとの対話を通じて～

母親代表 **佐々木えみ** ささき えみ

テーマ

みんなで迎え入れた命
～人の温もり、繋がりを感じたお産～

小5・小2・年長・2才・6ヶ月の5児の母として、育児大奮闘中。上の子ども達が『赤ちゃんってどうやって生まれてくるの?』と興味を持ちだしていた。その頃、待望の5児の妊娠を機に「新しい命を家族みんなで迎え入れたい」「体感することが、一番の命の授業だ!」と思った。産み場所の選択ができることを初めて知り、在宅出産を決意。作業療法士、育休中。



父親代表 **松本徹** まつもと とおる

テーマ

在宅出産と子どもを育てる喜びについて

NPO法人に勤務し、少年自然の家を中心に子どもたちの指導に携わる。
JICA青年海外協力隊としてペルーで2年間環境教育を行う。
コンビニ店のオーナーを務める。妻が在宅出産、4児の父。



若者代表 **末廣佳都** すえひろ けいと

テーマ

若者が望むこれからの日本

大学在学中にスノーボードブランド「edge」を起業。大学卒業後は、兵庫教育大学大学院に進学し健康教育について研究。大学院在学中に、自然体験学習を主とした教育団体「1POME」を立ち上げ現在活動中。



若者代表 **田中翔子** たなか しょうこ

テーマ

生きる力! 夢の実現へ向けて

海と山が美しい町で暮らす高校2年生。
福岡県立東筑高等学校在籍中。バトミントン部。
将来の夢は助産師。



【主催】自然出産と母乳育児を支える会

お問合せ



onburidakko@gmail.com